

津波浸水想定区域図

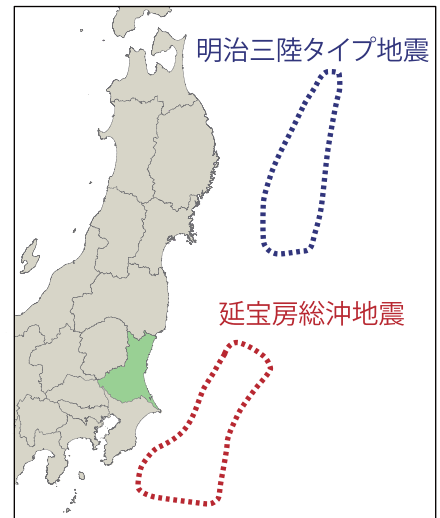
想定した津波

この図は、過去に大きな津波被害をもたらした延宝房総沖地震（1677年、マグニチュード 8.3）、及び明治三陸タイプ地震（1896年、マグニチュード 8.6）による津波が再び発生した場合を想定してシミュレーションしたものです。

右の図は、2つの地震の震源域を示したものです。下の図は、これらの想定津波による最大の浸水範囲を表示しています。

地震の規模や震源の位置が想定と異なる場合には、ここで示したよりも大きな津波が発生したり、より早く津波が来襲する可能性があります。

なお、この図は、茨城県が平成 19 年度に実施した「茨城沿岸津波浸水想定区域調査」の結果を表示しています。

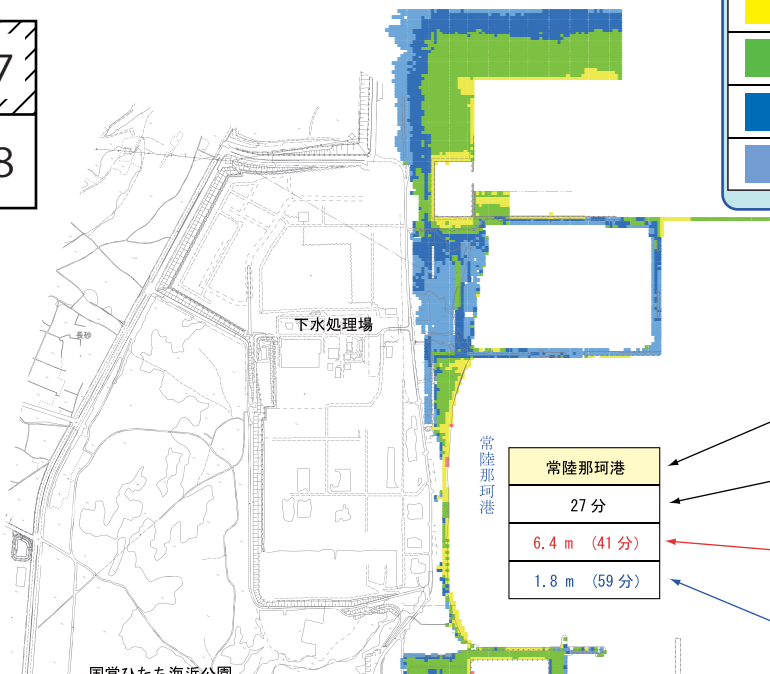


シミュレーションの条件

- (1) 地形
現況地形（平成 17 年、海岸保全施設等も含む）
- (2) 海岸保全施設等
既設の海岸護岸や堤防、防波堤などは地震や津波で被災しないものと想定
- (3) 潮位
朔望平均満潮位（大潮の頃の満潮位）=TP+0.7m

接図例

1	3	5	7
2	4	6	8



津波凡例

津波浸水予測範囲
(2つの想定津波の最大浸水深)

	6.0m以上
	4.0 ~ 6.0m未満
	2.0 ~ 4.0m未満
	1.0 ~ 2.0m未満
	0.5 ~ 1.0m未満
	0.5m未満

地区名

2つの想定津波で予測される影響開始時間のうち最短の値

延宝房総沖地震津波の最大遡上高（津波到達時間）

明治三陸タイプ地震津波の最大遡上高（津波到達時間）

常陸那珂港

27分

6.4 m (41分)

1.8 m (59分)

常陸那珂港